

広報

第889号

いながや

9月

平成25年



川遊びを楽しむ子ども達(ふるさと館近くの猪名川)

特集

9月1日は防災の日 **災害に備える!**

「住みやすい町」となるように

～ 子ども議員たちの熱いまなざし ～ 5

申し込んでいない商品の強引な送り付けに注意! 19

いなが♥輪 川辺バレーボールクラブ
若葉熟年クラブ 22

瞬(ときめき) 鶴田 和平さん 26

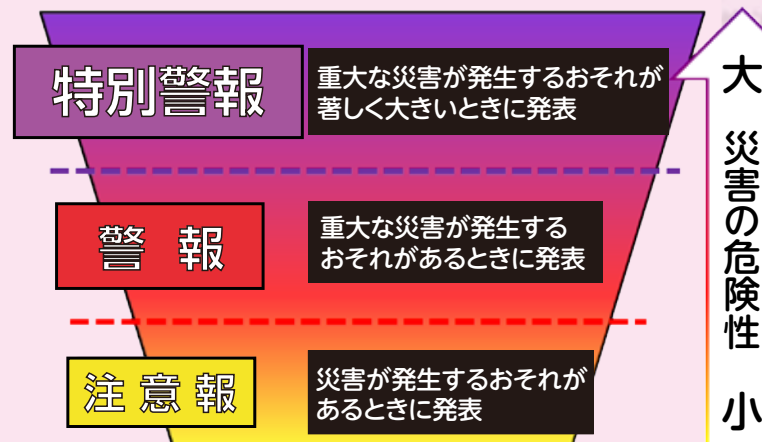
私のオススメ★ 彫刻の道から善福寺へ 27

特派員報告 スポーツセンターを利用してみましょう! 28



秋の知らせ(大野山でススキ開花)

8月30日 特別警報の運用開始



気象庁は、重大な災害による危険性が著しく高まっていることをお知らせし、特別な警戒を呼び掛けるために、新たに「特別警報」を発表します。

特別警報の対象とする現象は、「東日本大震災」「伊勢湾台風」「平成23年台風第12号」などが該当します。特別警報が出た場合、お住まいの地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。屋外の状態や、避難指示・避難勧告などに注意し、ただちに命を守るための行動をとってください。

地震時の行動について

- ①揺れを感じたら机の下などへもぐり、頭を守る。倒れてくる家具や落下物に注意。
- ②揺れがおさまったら、火を消し、ガスの元栓を閉め、ドアや窓を開けて逃げ道を確保。
- ③家族の安全を確認し、懐中電灯や携帯ラジオなどの非常持出品を用意し、ガラス破片の散乱に注意して、靴を履く。
- ④余震に注意し、一時避難地や避難所に避難（避難所まで徒歩で行ける場合、車はできるだけ利用しない）。



東日本大震災での被害状況（気仙沼市内）

場所別の身の守り方のポイント

- ◎集合住宅では、エレベーターは使わない。
- ◎住宅街やビル街では、ブロック塀や門柱から離れ、屋根や看板などの落下に注意し、手荷物などで頭を守り、広場などへ避難する。
- ◎車の運転中は、急ブレーキをせずにゆっくりスピードを落とし、道路の左側に停車し、揺れがおさまるまで車外に出ない。

9月1日は防災の日 災害に備える！



屏風岩付近の猪名川(平成16年台風第23号 10月20日撮影)

防災への取り組み

町では、大規模災害などに備えるため、猪名川町地域防災計画を策定し、今年度は防災マップの改訂など、住民の皆さんの生命、身体、財産を守るための取り組みを行っています。

また、災害などの緊急情報をお知らせする「いなぼうネット」をはじめ、フェイスブックでの情報発信や、一部公共施設への公衆無線LANの設置など、情報伝達に関するインフラの整備も順次行っています。今年度は、今後の町防災事業について、まちづくり協議会ごとに説明会を実施し、説明会で得られた地域の皆さんの意見を反映させた防災施策の展開に心がけていきます。

住民の皆さんの災害への課題や疑問なども、防災への取り組みを行ううえで非常に重要な要素となりますので、ご意見をお寄せください。

▽連絡先 危機管理室（☎766・8703）



▲防災訓練の様子

風水害時の行動について

▼危険が迫る前の早めの避難が重要。ただし、夜間や急激な降雨などの危険な状況の中での避難はできるだけ避け、安全の確保を第一に考える。

▼指定された避難所への移動だけでなく、自宅や近隣建物の2階以上の高い所へ移動した方が安全な場合もある。

洪水からの避難のポイント

◎はき物はひもで締められる運動靴が好ましい。

◎水深が50cmを上回る場合は危険。流れが速いと20cmの水深でも歩けないことがある。

◎水面下にはマンホールや側溝などがあるため、長い棒などを杖代わりにして、安全を確認しながら歩く。



笹尾地区の猪名川
(平成16年台風第23号 10月20日撮影)

「住みやすい町」となるように

～子ども議員たちの熱いまなざし～

第16回目となる子ども議会が7月31日に、町役場内議会議場において開催され、町内6つの小学校と3つの中学校から選ばれた19人の子ども議員が出席しました。自分たちの住んでいる「猪名川町」をよくするための思いを投げかけ、真剣な表情でその答弁に耳を傾けました。19人は、その熱いまなざしから、何を感じ、何を学んだのでしょうか？その概要を紹介します。

阿古谷小学校の今後の使い方 ＜松尾台小学校＞

【議員】 僕たちは3月まで阿古谷小学校、4月からは松尾台小学校へ通っています。「僕たちが5年間通った学校はどうなるのか」「生き物たちのことや使っていた机などはどうなるのか」など気になる、考える不安な気持ちでいっぱいです。僕たちが阿古谷小学校の発表会で「今後の阿古谷小学校の使い方」

について「提案したプロジェクトは検討していただいていますか？僕たちが考えたことに対して、町長さんはどんなふうに思われたか、また、今後阿古谷小学校をどんなふうに活用しようと考えておられますか？」

【町長】 阿古谷小学校は、地域に根差した学校として140年間の歴史と伝統を誇り、この3月に閉校となりました。2月に行われた学習発表会で、皆さんより提案のありました「今後の阿古谷小学校の使い方」については、よく考えられ、夢のある内容であると感じました。

皆さんが大事に育てていた生き物たちは、引き取られて育てられたり、また、

皆さんが使用していた机やイスなどの一部は、他の学校で有効に活用されています。町でも、阿古谷小学校が将来どのような使い方をすれば皆さんに喜んでもらえるのかなどについて、阿古谷地域の皆さんと一緒に話し合いを始めようとしており、意見を聞きながら課題や提案などを整理したいと考えています。

皆さんも家で、色々なアイデアをお話していただきたいと思います。

阿古谷 夏海議員

福井 雄麻議長（中谷中学校）

議長あつち

今日のこの議会は、とても貴重な場です。猪名川町に住むわたしたち児童、生徒が、明日のそして未来の猪名川町が、より住みやすい町になるような提案を、各学校で考えてきていただいたと思います。

普段、なかなかわたしたち子どもの声を、生で聞いていただける機会はありません。それ故に、この議場で猪名川町長・福田長治様をはじめ多くの方々に、それぞれの声を届けられることへ感謝しましょう。また、互いの質問や答弁をしっかりと聞き、各校へ持ち帰ってください。

この「子ども議会」を通して、猪名川町に住む、子どもから高齢者までの多くの方々が、より住みやすい町となるように願っています。

◆ひょうご防災リーダー講座

▶とき 9月28日～平成26年3月1日までの間 全12回（土曜日開講）各日午前10時30分～午後4時20分（予定）
▶ところ 県広域防災センターほか
▶内容 大規模災害に備えるための災害対応図上演習・ワークショップ・地域防災訓練への参加など
▶対象 地域、職場の防災の担い手など
▶定員 120人
▶受講料 無料（教材など一部実費負担あり）
▶申込・問合せ 総務課、日生・六瀬住民センター、文化体育館に備え付けの申込書に必要事項を記入し、9月20日までに特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所（〒651-0076 神戸市中央区吾妻通4丁目1番6号 ☎078-230-8511、FAX 078-230-8512、Eメール bosaileader@kobe-machiken.org）へ郵送・FAX・Eメール。
▶その他 受講について一部町の補助があります。※詳細は危機管理室 ☎766-8703

◆フェニックス共済のご案内

年額5,000円の掛け金で、自然災害によって住宅が半壊以上し、補修を行ったり、新たな住宅の建築・購入をされる場合に最大600万円まで共済給付金が支給されます（年額1,500円の家財再建共済もあります）。詳細については、フェニックス共済のホームページや町内各施設に配置しているパンフレットをご覧ください。

【特徴】

- ①あらゆる自然災害に対応
- ②他の保険に加入していても給付が可能
- ③定額負担で定額給付

▶対象 県内に住宅を所有している人

▶申込・問合せ 公益財団法人兵庫県住宅再建共済基金（☎078-362-9400 平日午前9時～午後5時）

災害が起きた時の「食」の備えは十分ですか？

【食品※大人1人1日分】 飲料水500mlのペットボトル6本、野菜ジュース200ml、レトルトのご飯や切り餅など3食分、レトルトまたは缶詰の肉・魚・大豆と野菜を3食分、乾パン1缶、板チョコ1枚など

【食品以外】 ポリ袋、ラップ、アルミホイル、紙コップ、割り箸、紙皿、ウェットティッシュ、はさみ、ナイフ、缶切、ライターなど※災害時に持ち出せるように、一人あたり1日分程度の食料をリュックなどの防災袋（重さは5～6kgまでに）に入れておきましょう。

【日頃から利用する長期保存が可能な食品を、非常時に役立てる】

主食・・・米、餅（真空パック）、粥（レトルト）、そうめん、うどん、即席麺、カップ麺など
主菜・・・缶詰（ツナ缶、大和煮、大豆水煮）、レトルト（カレー、どんぶり）など
副菜・・・わかめ、切り干し大根、干し椎茸、じゃがいも、にんじん、かぼちゃ、たまねぎ、りんご、バナナなど
その他・・・ペットボトルのお茶、ロングライフの牛乳、缶ジュース、梅干、キャラメル、あめ、ビ



スケット、果物の缶詰、ドライフルーツなど
※乳幼児や高齢者、慢性疾患がある人、食物アレルギーがある人などは、日頃から状況にあった食品を選んで、備えておきましょう。
※ライフラインが止まることを想定し、カセットコンロ、ガスボンベ、七輪、木炭、缶入り固形燃料、ライターなどの熱源・調理器具なども備えましょう。

東日本大震災での被害状況（気仙沼市内）

災害時には、水道・電気・ガスなどのライフラインが止まったり、救援物資の搬送に時間がかかるなど、様々な問題が発生します。特に「食」については、今まで約3日分の食糧の備蓄が望ましいとされていますが、最近では南海トラフ地震の広域的災害で物流が止まってしまったり、各家庭で1週間分以上の食糧備蓄

が望ましいとされています。最低でも3日分、できれば1週間分の蓄えがあると十分といえるでしょう。また、いざという時のために家族一人ひとりの役割や避難場所、避難経路、連絡方法などを日頃から確認しておくことも大切です。



もしもの時のために！



しんがに くるも 新谷 拓樹議員
はやしだ たけし 林田 健志議員

**猪名川町っていいなと思われるまちとする
仮称「いなぼうスタジアム構想」
＜六瀬中学校＞**

を通して『猪名川町っていいなと思
われるまちとする』仮称いなぼうス
タジアム構想の提案（グラウンドの
人工芝化と野球エリアの黒土化、他
市とのスポーツ交流、各種団体の合
宿や公式戦の誘致など）
で、町の経済活性化に
もつながると考えます。
また、スタジアムの
命名権「ネーミングライツ」を募集してス
ポンサーを集めたらどう
でしょうか。
【教育長】 スポーツグ
ラウンドは、30年前に
総額9億2千万円の費
用をかけ、多目的グラ
ウンドと観客席、テニ
スコート5面がオーブ
ンしました。夜間照明
も完備され、昼夜を問

**里山を活用しよう
＜白金小学校＞**

【議員】 白金地区の里山はとても
見晴らしが良く、僕のお気に入りの
場所ですが、斜面が急でお年寄りや
小さな子どもは登れません。
普段は、地域の方々に草刈りをし
ていただいています。病気や台風
などで枯れたり折れたりした赤松が
沢山あります。
昔のようにもっと人と里山が身近
にふれあい、生き物や植物を大切に
考えるよう、森の整備をお願いしま
す。そして森の中に、アスレチック
などを作ってもらえませんか？猪名



こが はやと 古賀 駿士議員

**防犯カメラを付けてほしい
＜つつじが丘小学校＞**

【議員】 つつじが丘にある各公園
に一つずつ防犯カメラがあったら
いいと思います。
夜になると暗くて危ないし、遊
んでいる時、自転車のかごに入れ
せて47の公園があります。これら
の公園は、小さな子どもから高齢
者の皆さんの遊び場であり、また
憩いの場であることから、皆さん
が安全で安心して利用していただ
けるように、日々公園の木の剪定
や草刈り、遊具の点検を実施し、
傷んだり壊れたりしている遊具に
ついては修繕などを行っています。
安全のために公園に防犯カメラ
を付けることは、個人のプライバ
シーを守る」という考
えから、設置する必要が
生じても地域の皆さんの
意見がまとまらないまま
設置することは難しいと
考えています。
公園では、できるだけ
友達と一緒に遊ぶよう
に、大事なものは自分
の身に着けるなど、皆さん



たけはら まひろ 高原 麻比瑠議員
しおた けいすけ 潮田 圭祐議員

【議員】 他市では黒
土の球場があり、本
格的に野球の試合が
できます。
そこで町スポーツセ
ンターのグラウンドを
一部改修し、スポーツ



とよやま まさや 東山 雅哉議員

**うぐいす池公園整備について
＜中谷中学校＞**

再び、子どもから高齢者
の方までが安心して居られ
る公園に戻すために、この
公園を整備したいのです
が、中学生だけの手では、
到底無理なので、大きく育
ちすぎ、見通しが悪くなっ
た公園の木々の伐採や剪定
について、町としてお力を
いただけないですか？
【企画部長】 町内の公園で

2番目に大きいうぐいす池公園は、
阪神甲子園球場の約2倍の広さで、
オープンしてから25年が経過し、公
園内の遊具なども老朽化しています。
平成21年7月には、近隣住民の
方々がうぐいす池公園のリニュー
アルに向けて話し合いを行い、平成23
年には公園が暗いとの意見が多かっ
たため、樹木も多数伐採し、遊具も
ローラー滑り台を設置し、一部リ
ニューアルしました。
町では年齢を問わず、みんなが集
える公園を作っていきたいと考えて
おり、現在のリニューアル計画の
話し合いを地域の皆さんと進めてい
ますので、ぜひ参加してください。
「笑顔や子供の声があふれる公園
にしたい」との思いは町も同じです
ので、ご協力をお願いします。



よしだ かいせい 吉田 開成議員



やまもと あやか 山本 彩夏議員

**北部の過疎化を止めるには
＜大島小学校＞**

【議員】 大島地区は、過
疎化が進んでいます。近
くに目玉になる施設や勤
められる会社などが少な
いためだと思っています。
特に大島小学校では、
6年生27人に対し、1年
生は7人と児童数が大幅
に減ってきています。
生活がしやすいよう、
交通網の整備や医療施設
の充実、産業振興などで、児童数
が増えるとうれしいです。
人口増加につながるよう北部地
域が活性化するような工夫をして
ください。



しみず のぶたけ 清水 伸竹議員

【副町長】 「過疎」とは、地域の
人口が大幅に減ったため、例え
ば、病院や学校、商店がなくなる
など、その地域で暮らす人が暮ら
しにくい状態になることで、全国

的に大きな問題となっています。
地域の暮らしを守るためには、
今ある商店や施設を地域のみんな
で守ることが大切で、これは交通
や医療でも同じことです。
大島小学校区では「まちづくり
協議会」が中心となり、校区内の
将来や未来について話し合いを
し、どうすれば、豊かな自然環境
を守りながら住んでいる地域がよ
り快適で住みやすくなるのかを考
えてきました。
全国には、そこにしかない魅力
を自ら発信することで、多くの
人が訪れ、地域の活性化に繋げる
など、成功している取組みが沢
山あり、これらが新たな定住者を呼
び込むなど、人口増加のきっかけに
もなっています。皆さんも地域の
一員として、自分たちでできる
ことを考えてみてください。



やまもと このか 山本 このか議員

ていたDSをとられた子もいるの
で、ひとりである時も安心してみ
んなが遊べるように、防犯カメラ
を付けてください。
【生活部長】 町内には、大小合わ
それぞれがルールを守り楽しく公
園を利用してみてください。

川町の里山をいろんな人に活用して
欲しいです。
【地域振興部長】 本町は、面積の約
80%が森林です。この恵まれた自然
環境を身近な環境教育の場として活
用するため、平成14年度より順次、
各学校に学校里山林を整備してきま
した。
白金小学校の里山は、とても見晴
らしがよく、多くの方々にも体験し
て欲しいの思いはよくわかります
が、里山はできるだけ人の手を入れ
ず自然の状態で、皆さんの体力に応

じた活用をすることが好ましいと考
えています。
台風などによる倒木の放置につ
いては、より多くの方が里山で自然
や動植物とふれあうために、一定
の整備の必要性があると考えていま
す。また、アスレチックについても、
できるだけ自然の状態で活用いた
だくことが望ましいと考えています。
里山は人々に安らぎを与えてくれ
ます。これから皆さんの協力を得
ながら、里山の活用に取り組んで
いきたいと考えています。



子ども議会を終えて...

子ども議会は、子ども達が普段から感じていることを言える場所として、また、町づくりについて考えるきっかけや、議会の仕組みについても少しでも知っていただく

ために開催しています。

未来の猪名川町の実現には、子ども達の力が必要です。今回、議場で意見を述べた子ども達や引率教諭の感想を紹介します。

《議長》「特に、議長と言う大役は、なかなかできることでは無いから、緊張したけどできて良かった。普段は改めて、町のことを考えたことは無かったけど、もっといろいろ知りたいし、考えていきたいと思います。」

《議員(中学生)》「いろんな事情があるから、すぐに実現できることではないことはわかったけれど、思っていることが言えて良かった。答弁もわかりやすかった。」

《議員(小学生)》「地域での清掃活動など、何気なくやっているけれど、自分たちが住む町をきれいにするために、とっても大切なこと。もっときれいで気持ちの良い町にしていきたい。」

《議員(小学生)》「子ども議員は、なかなかできる体験では無いから、自分で立候補しました。質問を考えるのが難しかったけれど、住んでいる町のことを考えるきっかけになって、良かった。来年、後輩には、絶対お勧めします！」

《議員(小学生)》「他の学校の子たちが、しっかりとした質問をしていて、中には自分たちが思いつかないようなこともあって、すごいなって感じだし、いろんな意見を聞いて、勉強になった。」

《議員(小学生)》「今回の質問の答弁で、少し地域のこととがわかった。これからは、もっと地域にも関わってきたい。」

《議員(小学生)》「緊張したけど来てよかったし、楽しかった！ありがとございました。」

《引率教諭》「厳粛な雰囲気を経験する機会の少ない子ども達に、議場に入らせていただくことも、本会議と同じような議事進行も大変良い経験となりました。子ども達の提案の中から、実際に施策として進めていただけることがあれば、将来の猪名川町について子ども達の夢も大きく膨らむものと思います。多くの方々に関わって、町政が進んでいくのだということ、子ども達も感じたようです。」

▶ 問合せ 秘書広報室 (☎ 766 - 8707)

2013 救急フェア

～皆さんの勇気ある行動を～

9月9日は『救急の日』、9月8～14日は『救急医療週間』です。消防本部ではこの週間にあわせて、住民の皆さんに救急医療や応急手当の正しい知識を覚えていただく、一人でも多くの命が「皆さんの勇気ある行動」で救えることを理解していただくために『救急フェア』を開催します。

▷ とき 9月8日(日) 午前10時30分～午後2時30分

▷ ところ イオンモール猪名川3階フード

コート前および3階西側駐車場
▷ 内容 心肺蘇生法・AED体験・救急アドバイザーによる救急なんでも相談・救急車の展示・救急クイズコーナーなど

▷ 問合せ 消防本部救急担当 (☎ 769 - 0119)



未来の猪名川町はあいさつであふれている町 ＜猪名川小学校＞

【議員】猪名川町はあいさつの得意な町だと思っています。あいさつをされると嬉しく思いませんか？もしあいさつをしてくれる人がいたら、自分もうれしい気分になるし「次は自分からしてみよう」と思つかもありません。あいさつをしていかなことは無いと思います。未来の猪名川町は「あいさつであふれている町」になればいいと思います。

【総務部長】あいさつされるところお互いにうれしい気持ちになり、地域での人と人とのつながりを深め、何か困ったことがあれば、協力し助け合うような、よりよい地域社会づくりと、子ども達の明るく豊かな心を育てることにつながります。

町は、地域の防犯グループや、学校・園とともに、大人も子供もお互いが「声かけ」「あいさつ」できる環境づくりができるよう、「あいさつ」笑顔あふれる猪名の里を合言葉に、「いくなこスマイル あいさつ運動」を推進しています。

皆さんも家庭や学校、地域で、そして、大人も子どももあいさつ運動を継続し、その輪を拡げていきましょう。



社会見学や体験活動をたくさん積み重ねて、私たちの学習が広く確かなものになるために、いつでも利用できる校外学習用のバスがほしい ＜楊津小学校＞

【議員】私たちの楊津小学校は子どもの数が少ないだけに、交通機関で容易に出かけることができません。社会でたくさん調べたり、理科で色々観察したり、がんばって勉強していただきます。そんな私たちがさらに視野を広く持ち、多くの場で学習できるよう、各校には無理でも、町内の小中学校が、見学や学習に必要な時に利用できるバスがあればいいと思います。

バスが無理であれば、各学校にバス利用の補助をしてください。

【教育部長】楊津小学校の皆さんが日頃から学習の一環として、校外から多くの講師を招いたり、展示物を借りるなどの本物を通じての体験により、一生懸命学習されていることを伺っています。

楊津小校区では、路線バスの本数が多くないことや料金が割高になることなどの現状は承知していますが、バスの購入や維持管理には、多額の費用がかかるため、町で運行することは難しいです。また、業者にバスを頼むことやバス利用の補助についても同様に、高額となります。

しかし、皆さんの学習意欲を受けとめ、体験学習の機会を一回でも多くつくれるよう、例えば幼稚園バスの空き時間の利用など校外活動ができる工夫をするなど、町としても支援を続けていきたいと思っています。



安全な自転車通学 ＜猪名川中学校＞

【議員】今の猪名川中学校の生徒の3分の1が自転車通学ですが、自転車の数だけの道路が確保できておらず、最近では自転車事故が多発し、重傷者も出てきました。

今、私たちの学校では、保護者や先生方が立ち番をしてくれています。それでも事故が起きています。ですから「自転車専用道路」をつくれれば交通事故が減ると思います。

【まちづくり部長】自転車の事故は全国的に増えており、特に歩行者との接触事故が増えています。歩道や車道とは別に「自転車専用ロード」を整備するといったことは事故を未然に防ぐための方法の一つであると考えます。しかし、住宅や田畑がある場所では自転車専用ロードを造ろうとすると、多くのお金と時間が必要となります。

自転車は道路交通法では、軽車両の扱いとなります。事故が起こらないようにするには、一人ひとりが前後左右に気を配り、交通ルールを守り、安全運転を心がけることが重要です。

「相手を気遣い、相手の立場になって考えて行動すること」で、自転車と歩行者の接触事故も起こりにくくなると思いますので、ぜひ実行してみてください。



んが日頃から学習の一環として、校外から多くの講師を招いたり、展示物を借りるなどの本物を通じての体験により、一生懸命学習されていることを伺っています。